

主題について

ねらいとする価値

本主題は、低学年内容項目C-(12)「働くことのよさを感じて、みんなのために働く」を深めることを意図したものである。生きていく上で、自分の仕事に喜びと誇りをもち、生きがいをもって仕事を行えるようにすることはとても大切なことである。働くことは、日々の糧を得るためだけでなく、働くこと自体が自分に課された社会的責任を果たすという意味においても重視する必要がある。この時期の児童は、みんなのために働くことを楽しく感じている児童が多い。その実態を生かして、人の役に立つ嬉しさ、やりがいや自分の成長などを感じられるようにすることが大切である。

児童の実態

- ① 児童は6月に「親切・思いやり」の内容項目で、相手の立場に立ってその心情を思い、自分のこととして受け止めることの大切さを学習している。また、優しく接したときの相手の喜びを自分の喜びとして受け入れられるようにし、具体的な行動を起こすことの大切さも考える経験をしている。
- ② 係や当番の仕事に興味をもち、みんなのために働くことを楽しく感じている児童が多い反面、根気が続かず途中で投げ出してしまいう児童もいる。
- ③ 道徳の時間では、友達の見聞を聞こうとしている児童は多いが、自分の考えをもち、それと友達の考えを比べながら聞いたり、積極的に自分の考えを述べている児童は少ない。

考え、議論する道徳の時間を充実させるために

○ ねらいとする道徳的価値を理解させるための導入や教材との出会いの工夫

細かい情景描写などよりも、道徳的な観点の心情の高まり変化をとらえられるように、場面絵を提示しながら、読み聞かせをしていくようにする。導入においては、夏休みのお手伝いカードや係活動などこれまでの体験を話題にし、ねらいとする道徳的価値への問題意識をもたせる。

○ 役割演技

演劇的な表現を取り入れることで、学習の展開に参加するだけでなく、登場人物の気持ちを自分との関わりにより深く考えたり、自分の考えを再確認したりするなど、ねらいとする道徳的価値の理解を深めることができると考えられる。そこで、お風呂掃除をするひろきの様子に役割演技を取り入れ、そこで声をかけてもらった時の気持ちを味わわせ、働くことの良さを実感できるようにする。

○ 人の役に立つ嬉しさ、仕事のやりがいなどが実感できる道徳学習プログラム・学習シートの作成

多くの児童は、働くことに喜んで取り組むが、すぐに飽きてしまい、やる気を継続させて取り組むことができにくい。しかし、周りの人からの感謝の言葉を伝えてもらうことで、働く喜びややりがいを実感でき、児童の成長のきっかけをもつことができると思われる。保護者に、通信や懇談会等で、取組のねらいや様子を伝え、児童のやる気が湧いたり根気が続いたりするような声かけを保護者にしてもらえよう協力をあおぐ。そこで、学習シートには、友達やおうちの人などによる他者評価を書き入れたり付箋を貼ったりできるようにする。また、学習前と学習後での自分の比較を取り入れ、「役に立つ嬉しさ」「仕事のやりがい」「自分の成長」が、見えて実感できる学習シートを作成する。生活科の「じぶんでできることをしよう」と関連を図って指導していくことで、道徳の時間に学んだ道徳的実践力を、日常生活での実践につなげるようにする。

2 本時のねらいと授業の展開

本時の学習

(1) 本時のねらい

自分に仕事を任されて喜ぶぼくの気持ちを考えることを通して、家族の役に立つ喜びを感じ、家族やみんなのために進んで働こうとする態度を養う。

(2) 本時の学習展開

過程	学習活動 ○主な発問 ●中心発問 ・予想される児童の心の動き	◇指導上の留意事項 □道徳科学習プログラムとの関連 □考え・議論する時間の工夫 *評価
導入	<p>1 自分たちの係や当番活動について振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習係は、朝先生が声をかける前に宿題集めの仕事をしている。 ・ ○○さんは、取り掛かりが早く、上手に給食の配膳をしている。 ・ ○○君は、掃除時間になるとすぐにバケツに水を汲んで準備をしていた。 	<p>◇ 児童が認識している係や当番活動等の様子について発表させることで、ねらいとする道徳的価値への方向付けをする。</p> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>□道徳科学習プログラムとの関連</p> <p>展開後段の人のために働くことの大切さや喜びにつなげるために、ここでは、自分が見た友達や周りの人の仕事を振り返る。</p> </div>
展開前段	<p>2 話を聞いて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ お母さんに、「お風呂掃除一緒にやろうか。」と言われた時、「ぼく」はどんなことを思ったのでしょうか。 ・ うまくできるかな。 ・ やってみたいな。 ・ 頑張ってみよう。 ○ 「お掃除のプロ」とは、どういうことでしょうか。 ・ とても上手にできること。 ・ 手伝ってもらわなくても上手にできること。 ・ お母さんと一緒にしなくてもできること。 ・ 誰よりも上手にできること。 ● 「やったあ。」と喜んだ「ぼく」は、 	<p>◇ 場面絵を貼りながら読み聞かせを進めることで、話の内容を把握しやすいようにする。</p> <p>◇ やる気と不安が入り交じった気持ちであることを押さえる。</p> <p>◇ 上手にできるようになった喜びが自信となって、自分の成長につながっていることに気付けるようにする。</p> <p>◇ 家族の一員として、自分の仕事が認めら</p>

<p>前 段</p>	<p>どんなことを考えていたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ おうちの人が喜んでくれたので嬉しい。 ・ お風呂掃除が自分の仕事になったぞ。 ・ 頑張っってよかったな。 ・ これからもお風呂をピカピカにするぞ。 	<p>れた時の気持ちを考えさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>□考え、議論する時間の工夫</p> <p>ワークシートに考えを書かせることで、きちんと自分はどう思う、こう考えるというものをもって、話し合いにのぞむことができるようにする。また、登場人物の気持ちを実感し、自己の行為や感じ方、考え方を再確認できるように役割演技を取り入れる。</p> </div>
<p>展 開 後 段</p>	<p>3 これまでの自分の体験を振り返り、自分の仕事について考える。</p> <p>○ みんなのために仕事をしたとき、どんな気持ちでしたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 喜んでもらえて嬉しかった。 ・ 頑張っって掃除をして、きれいになって嬉しかった。 ・ 掃除が上手にできて、先生や6年生に褒めてもらって嬉しかった。 	<p>◇ 資料から離れ、自分のことを見つめ直すことができるように、再度、係や当番活動を振り返るために、学習シートを活用させる。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>□道徳科学習プログラムとの関連</p> <p>再度学習シートを使用することで、学習前と学習後の自分の考えはどのように変わったのか、または変わっていないのか確認ができるようにする。</p> </div> <p>◇ 学級で目立たなくてもコツコツと仕事をしている児童の活動の様子や家庭での活動に対しての保護者からの意見を紹介する。</p> <p>* 自分が行っている係活動が人を喜ばせていることに気付き、自分も嬉しく思うことを通して、人のために働く意欲を高めているか。（ワークシート、発言）</p>

<p>終</p> <p>末</p>	<p>4 本時の学習を振り返る。</p> <p>○ 今日の振り返りを書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 夏休みはあまりやってなかったので、これからは言われなくてもやってみようと思った。 ・ みんなが喜ぶことを、僕もやってみよう。 ・ もっと、おうちの人に喜んでもらえるようにしたいな。 ・ 今、家でやっている仕事を頑張って続けよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 「自分の考えが変わったなと思ったこと 思うことはありますか。」「今日考えたこと や友達の考えを聞いてなるほどと思った ことはありますか。」を振り返りの視点 として提示する。 ◇ 働くことの意義について、自己の変容に 気付いている児童や、自分にできることを 進んで行おうと具体的に考えている児童の 意見を取り上げ、全体に紹介する。 * 自分にできることを見付けて、人のため に働きたい、役に立ちたいという意欲を高 めることができたか。（ワークシート、発 言）
-------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------